



<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

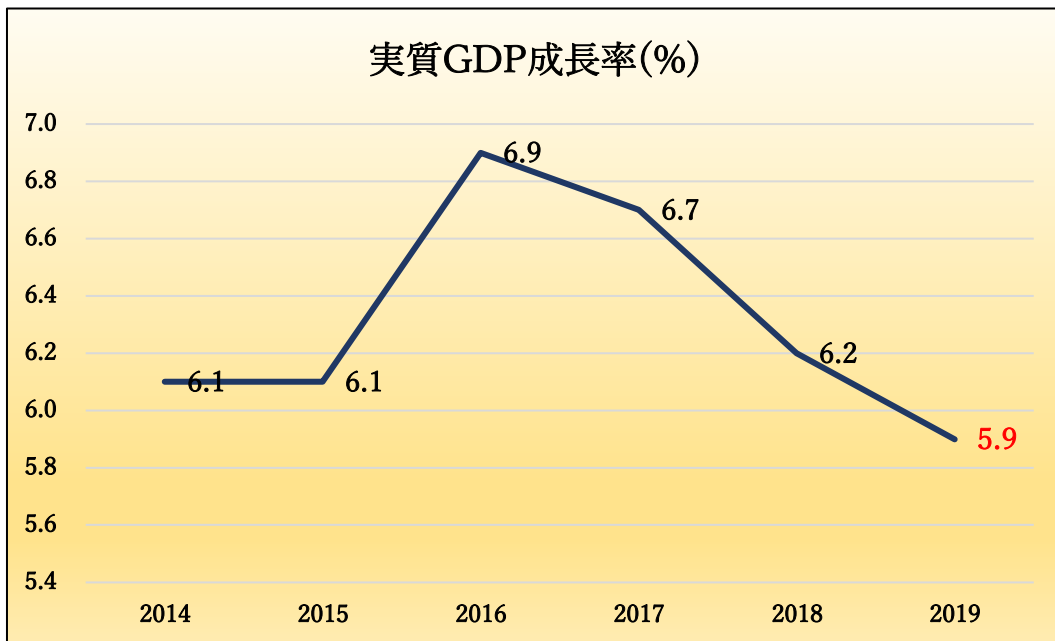
2020年1月24日

フィリピンの2019年GDP成長率 +5.9%に減速

フィリピン統計庁(PSA)が発表した2019年のGDP成長率は前年比+5.9%にとどまり、3年連続減速し、6%割れで政府目標(+6.0~+6.5%)を下回る結果となった。

政府の予算成立が、上下両院の対立で通常より4か月遅れ、公共支出の遅れが結果的に公共支出額の減少に繋がったこと、および米中貿易摩擦の影響で、輸出の伸びが前年の+13.4%から+3.2%へと大きく縮小したことが原因。一方利下げやインフレ率の低下によって内需は前年の+5.6%から+5.8%へと伸長した。

政府は2020年の経済成長率目標を+6.5%~+7.5%に設定している。



出所:PSA のデータを基にキャピタル アセットマネジメントで作成

以上